

外国語学部1年生が文京区のお店45店舗のポスターを日本語と英語で作成 地域連携型の初年次教育プログラムを実施

文京学院大学外国語学部1年生282名が、地域連携型の初年次教育プログラムとして、文京区の45店舗とそこで働く人を対象に、「社会人の『働く想いを実現』」、「想いを実現するための『仕事』とは」、「仕事とは何なのか」をテーマにインタビューを行い、日本語・英語で各店舗のポスターを作成しました。

地域連携型の初年次教育プログラム 実施概要

本学外国語学部では、効果的な学習のためのアカデミックスキルの養成、および、社会で活躍するための基礎的なコミュニケーション力の養成を目的に、地域連携型の初年次教育プログラムを実施しています。学生は地域と連携したプロジェクト型の授業を通して、課題を発見して解決する力や、他者とのコミュニケーションスキル、プレゼンテーション力を身につけていきます。この取組みは、今年で3回目になります。

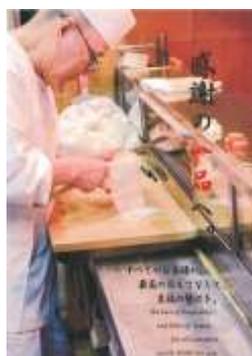
今年度は、株式会社JTBコーポレートセールスの協力のもと、学生282名が45グループに分かれて、本郷キャンパスのある文京区で働く社会人の方々に取材をし、そこで得た情報をもとにオリジナルポスターを作成する「ポスタビ〜社会人と出会おうプロジェクト〜」を実施しました。取材実施、ポスター作成、プレゼンテーションまでの活動を、全て学生が担当しました。取材をする前には、相手の話したいことを聴く、相手のことをよく調べる、輝いている瞬間を撮影する方法など、インタビューをする際のポイントを学び、学生同士でインタビューの練習も行いました。ポスター作成後には、取材内容とポスターについて紹介するプレゼンテーションを行い、お礼状とともにポスターを各店舗にお渡ししました。外国語学部生ならではの視点で作成されたポスターは、英語での紹介も入っており、外国人観光客が多い文京区の店舗の方々から好評を博しました。

参加した学生からは「一つ一つの言葉に仕事に対する熱意を感じた」「地域への愛を持って仕事に取り組んでいる姿に感動した」「社会で働く人の姿が見えていい経験になった」といった感想が集まり、1年次に「働く」ことについて改めて考える機会となりました。



取材の様子

作成したポスターの一例



< 文京学院大学について >

1924年、創立者島田依史子が島田裁縫伝習所を文京区に開設。教育理念「自立と共生」を根源とする先進的な教育環境を整備し、現在は、東京都文京区、埼玉県ふじみ野市にキャンパスを置いています。外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部、大学院に約5,000人の学生が在籍する総合大学です。学問に加え、留学や資格取得、インターンシップなど学生の社会人基礎力を高める多彩な教育を地域と連携しながら実践しています。